

10代の意見

住む街の魅力に 気付くことから

◇私は、甲府市内の高校で文化財による地域振興に関する探究活動を行っている。その過程で感じた思いを述べた

い。まず私たちは、この研究

をするにあたり、同級生への

調査から開始した。将来の希

望居住地のアンケートでは、

70%が山梨県以外への転出を

希望していた。ちなみに前年

度は、81%が県外に進学して

いる。当然のことであるが、

県外への転出希望者は、地域

の歴史や文化にも興味がない

人が多い。

◇そこで、まず地元の高校

生が甲府市の歴史や文化に触

れることで、若者の転出に影

響するかどうか、自分で体験

しながら考えてみることにし

た。これは自分に対する戒め

も含めて設定した仮説であつ

た。まず初めに、山梨英和高

のグリーンバンクチャペルで実

施された、演奏会と講演会に

スタッフとして参加した。こ

の母校の有形登録文化財が、

どのように市民に公開され活

用されているかを確かめたか

った。次に、地元の大学生と

甲府市が連携して実施して

いる武田氏館跡での在住外

国人向けの散策会にも参加し

た。海外の若者が、この街を

どのように感じるか、直接見

聞きたいと思ったためであ

る。

◇これらの活動を通じて、

私の仮説は実感に変わった。

それは、私たちは自分の街を

知らないということである。

この街の魅力に気が付けば、

たとえ何らかの理由で、転出

したとしても、この街を語る

者はきつと増える。当たり前

で少し寂しい結論だが、私た

ちは、この思いから出発すべ

きである。

(山梨英和高3年・石井奏)